

# 若き 附中

熊本大学教育学部  
附属中学校  
学校だより

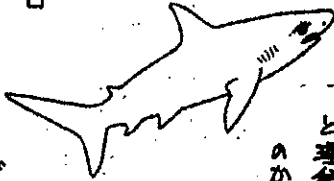
令和2年9月10日  
第8号  
《文責：高木》

キラリと光る、  
自らの問いに挑戦  
している理科の教  
員でした。  
他の教科でも、  
生徒が問い続けるよ  
うな、そんな授業を  
めざして、職員一同、がんばっ  
ています。

## 夏休みに心に残った事

二年二組 内田

皆さんは、9月9日には、附  
中に、たいへんのすごいお客  
様がありました。それは、天牛  
ニードーナツからのサメ(三匹)  
とカラカブ(五匹)でした。なん  
と理科の授業で「サメは、魚な  
のか？」という疑問に答を対す  
ため、本物のサメを観察  
し、さわったり、体温  
をはかったりするたの  
みに来校してもらったの  
です。サメといっても  
トナサメといっても、とてもおど  
ろしいサメです。私も、生ま  
れてはじめて、生きてるサメ  
とさわりました。やはりサメ肌  
でした。生徒諸君が、目もキラ



2学期がスタートして、10日  
ほどがたちました。この間に、  
東カテスト、生徒会役員選挙受  
付、避難訓練、台風10号による  
臨時休校と、たくさんのお事があ  
りました。  
そして、今週からは、  
教育実習がはじまり  
ました。今年度の教  
育実習は、新型コロナウイルス  
対策実施大を防ぐた  
め、例年より、日教20日  
間短くしたり、密をまてけるた  
め実習の先生と2班に分け、実  
際に実習する日と、Zoomで参  
加する日と交互に実施したりし  
ていきます。

皆さんは、夏休みなどのよう  
に過ごしましたか。今年度は新冠  
コロナウィルスの感染拡大で例  
年とは違った状況での夏休みに  
なり、大変な思いをした人も多  
いのではないのでしょうか。私は  
夏休みには美術科での田園制作を  
行いました。今回は、私達二年  
生美術部員が初めて主体となっ  
て行う共同制作でした。しかし  
新型コロナウイルスの影響で、  
予定より遅い制作のスタートと  
なり、制作日数が短縮されまし  
た。その上、揃く素材や田園の

構図が例年と違っていたので、  
上手く描けず不安でした。迫  
力が足りていなかったり、メイ  
クの部分が目立たなかったり、  
全体のバランスが取れてなかっ  
たりと、様々な課題が生まれて  
きました。課題や分からない事  
があれば皆で話し合い、色を作  
って塗り直す、この作業を何度  
も繰り返しました。失敗しても  
誰かがカバーしてくれ、失敗を  
恐れずに全力で制作を行うこと  
ができました。十月の体育大会  
会当日には、それぞれの団が、  
それぞれの力を存分に発揮でき  
るような道力のある田園を完成  
させたいと思います。そのたの  
みに、最高の作品を目指して、政  
りの期間田園制作を行っていま  
す。完成した田園の発表を楽  
しみにしていして下さい。

## 経験と抱負

三年四組 蓮田

多くの2学期の抱負は着実に

です。2学期は、勉強、体育大会など  
たくさんすることがあるのでこの抱負  
に決めました。ぼくがこの抱負にした  
理由は、これまでの生活、経験の中か  
ら、もう一つあります。

約八年前、ぼくはこの附属中への入  
学を志し始めました。サッカー部のキ  
ャプテンとしていた兄の姿、当時のケ  
ーの雰囲気は憧れたからです。そこ  
から小中学生で色々ありましたが、  
附属中サッカー部への憧れは変わらな  
く約二年前、附属中に入部しました。  
サッカー部への入部もすぐに決めた、乗  
り込み一杯でした。サッカーをすま為  
に入った部活でしたが、ぼくは部活の  
厳しさ、礼儀を知り、様々な力を身に  
つけました。特に朝のボラントリア活  
動が、ぼくを大きく成長させてくれた  
と思います。そこから日々は、あ、  
という間で、二年生の七月、キャプテ  
ンに就任しました。想像以上の重圧、  
責任がうねむこともありました。自  
分としては、一年間上手くまとめ、引  
き渡っていかれたと感じています。憧れ  
だったサッカー部の生活は、本当にす  
ぐに過ぎ去ってしまいました。今考え

ると、もっと一日一日を大事にしていればと、少し後悔があります。この、最高の部活生活の中での唯一の後悔を、これからはいないように、より「若き」に残り少ない附中生活を歩んでいきたいと思っています。